



眠りのプロショップ
Sawada

眠りのプロショップSawada（株式会社沢田商店）

グリーン購入運動取組へのレポート

after2007 第9回グリーン購入大賞受賞後

2007 年の第 9 回グリーン購入大賞におきまして、当社は中小企業部門において大賞を受賞しました。

その後本年 2013 年にいたるまでの、グリーン購入推進や、CO2 削減・環境負荷低減のための取組についてレポートいたします。



当社のグリーン購入推進についての基本的な考え方

東京都では粗大ゴミの筆頭が寝具で 60 万枚以上になるという状況です。そのほとんどが再利用も再資源化もされず焼却処分等なされています。一方で寝具やベッドマットレスなどはリサイクル（再資源化）が確立されていないという問題があります。そこで当社は

1. 長期間使用できる製品を推進する (Reduce)
2. リフォーム・打直し等、再利用を推進する (Reuse)
3. 生分解可能な素材を推進する (Biodegradation)

を 3 つの柱として、環境への負荷を低減する取組をおこなっています。加えて廃棄時に分別可能にできるような素材のセレクトも行なっています。

1998～2006の取組み

当社が取組みを開始したのは 1998 年で、グリーン購入基準が作られてしばらくでした。寝具にはそのようなものがなかったので、独自に基準を設けて取組みを始めました

1. 寝具のグリーン購入独自基準を設定
2. 天然素材中心の寝具へ切替え
3. ヨーロッパから生分解性が高く、長期間使用可能なメタルフリーのマットレス等を導入
4. 羽毛ふとんのリフォーム（仕立直し）を行なう機械を導入
5. 環境に負荷をかけない素材（オーガニックコットン等）の推進
（詳細はホームページ www.natural-sleep.com で紹介しています）

2007年以降の取組み

グリーン購入大賞受賞以降の取組みは大きく 4 つの流れがあります。

1. 普段着グリーン購入

わざわざ「地球にやさしい」とか表示しなくても、店頭で商品を選んでいただければ、なんらかのカタチで環境への負荷に配慮した商品を選んでいただける取組みを行い、現在売上の 95%以上が対象品です。

2. 地産地消+CO2マイレージ減少

環境への負荷が少ない長期間使える商品を選んだ結果ヨーロッパからの輸入品が増えてしまいました。これらは一方で CO2 マイレージが増えてしまいます。そこで、地元の特産品である、濱ちりめん・近江真綿・麻などに注目し、良質の製品を地場生産+地場消費するという地産地消に取り組んでいます。

3. 睡眠の質を向上

睡眠不足や睡眠障害による社会の年間損失は 3 兆 5 千億円ともいわれます。睡眠の質を上げることで、事故の軽減や仕事の効率化がはかられ、CO2 減少にもつながります。現代病の一つともいわれる睡眠障害を減らすための取組みは、「快適な眠りを提供する」という本来の会社のミッションにもそのまま通じるのです。

4. 省エネ推進

電球やエアコンの見直しなどで、節電をはかり CO2 の削減に努めています。使用電力量は 2009 → 2012 で 40%ダウンしました。

普段着グリーン購入・・・環境負荷低減は当たり前



池内タオル株式会社製造にちいさな
電力は100%風力発電のグリーン電力です。

バスタオル1枚で約473gの二酸化炭素を削減

池内タオルが『風で織るタオル』と呼ばれるのは
風力発電で工場が稼働しているから。
「グリーン電力証書システム」により年間5万kw
の風力発電の委託契約をしています。
これにより、当社は自社の使用電力を100%、
風力発電によってまかなうことになります。

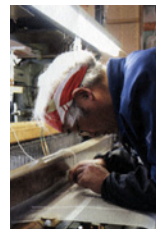


池内タオル本社工場訪問
池内社長と

風力発電で工場の電気をすべて賄う

風で織るタオルー池内タオル

愛媛県今治市の池内タオル（第12回グリーン購入大賞
受賞）は風力発電で工場の電気を賄い、アフリカなど
のオーガニックコットンを推進するエコ企業です。



安全で良い素材を見つけて、自社開発

オーガニックコットンのオリジナルカバー

出来合いの品を販売するのではなく、本当に安全で環
境への負荷が少ないオーガニックコットンなどの素材を
探して、オリジナルのカバーやふとんを作っています。

近江の良質素材を使った地産地消のオリジナル商品



シルクの特産品をコラボレーション

濱まゆ近江真綿布団

長浜の地場産品である濱ちりめんの生地を、ふとん用
に軽量の生地を織ってもらい、中わたに特産品である
近江真綿の生まゆ仕立てで仕上げました。
絹の持つ良さを存分に味わえる逸品にしあがっていま
す。

夏さわやかに過ごす日本人の知恵

近江ちぢみの本麻掛布団・敷パッド

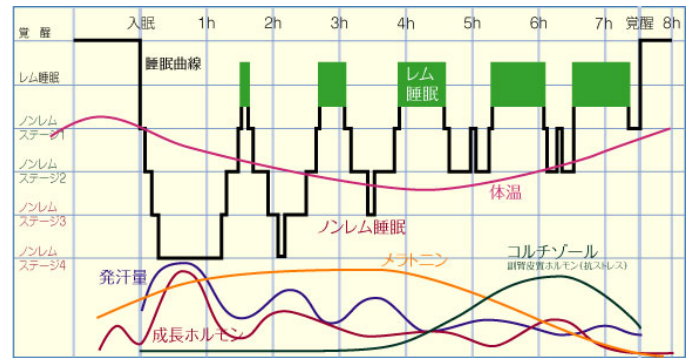
近江ちぢみは夏涼しい麻に独特のしぼを付けたもので、
蒸し暑い夏に最適の素材です。この素材を使い、全て
地元産で仕上げた丸洗い可能な本麻の掛ふとん・敷パッ
ドをオリジナルで作っています。



これら全てを地元で加工することにより、輸送にかかる
CO2 マイレージの低減に取り組んでいます。

睡眠の向上によってCO2削減!?

滋賀医科大学睡眠学講座との連携で睡眠健康指導士の取得で快眠のための情報と睡眠科学に基づいた寝具を提供
 地元滋賀医科大学には日本で最初に睡眠を総合的に扱う睡眠学講座が開設されています。お客様に正しい睡眠の知識をお届けするために、睡眠健康指導士（上級1名、初級3名）を取得。
 睡眠の情報を提供するだけでなく、どのようにしたら快眠できるのか、睡眠科学に基づいたカウンセリングによる寝具選びをサポートしています。

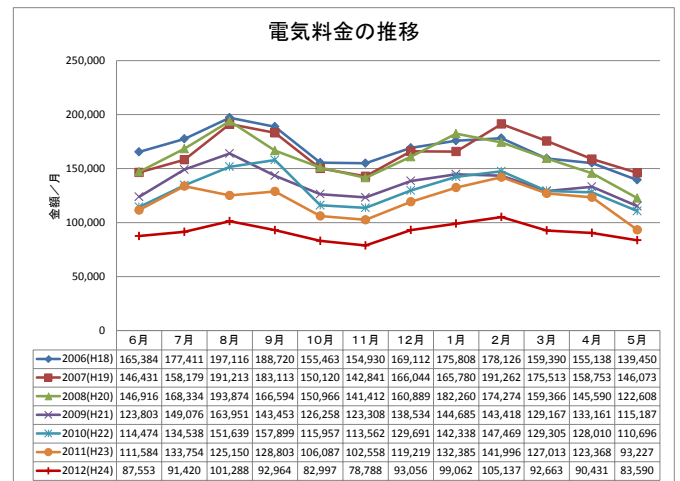


快眠セミナー
 睡眠学講座を毎月開催しています

省エネで電力40%カット

LED等による省電力化
 デマンドコントローラーの利用
 省エネ型エアコンへの入替え

クリプトン球やハロゲン球等のLEDや蛍光型電球への入替え、デマンドコントローラーでの需要チェック、省エネタイプのエアコン導入を行ない、2012年の年間使用量は前年比28.5%ダウン、2009年対比で40%ダウンを実現しました。



羽毛布団のRe-USE。仕立て直して新しく生まれ変わります 西日本初、店頭で羽毛の完全洗いリフォームを実現

ドイツ・ロルヒ社の羽毛リフレッシュマシンを導入しました

羽毛布団リフォームを目の前で

羽毛布団の先進地ドイツでは古くなった羽毛布団をリフォームして長く使うことを行っています。さわだでは、店頭設置としては西日本初となるドイツ・ロルヒ社の羽毛リフレッシュマシンを導入。生の原料でも洗浄可能な強力マシンです。

目前で、きれいに完全洗いと除塵・フェザーの分別を行い、都合3段階で除塵を行って、ゴミを減らした羽毛布団をリフォームします。サイズの変更なども自由に出来ます。シングル 24,800 円～



寝具のグリーン購入のためのガイド

これは眠りのプロショップ Sawada が独自に定めたものです。

1. 長期使用に耐えられるかどうか？

寝具はリサイクルの技術が十分に確立されていないので、長く使って買い換えを少なくする（Reduce）を第一に考えます。長期間の使用に耐えうる良質の素材を選ぶことが重要ですが、長く使うためには日常のメンテナンスも大切です。

2. 再利用可能かどうか？

再資源化（Recycle）ではなく、まず素材を再利用（Reuse）できるかどうかをチェックします。現状では、和とじ仕立てのもめん綿ふとんど、側も中わたも再利用できるので最も評価が高くなります。羽毛ふとんも再利用可能です。ウレタン素材は再資源化が可能です。

3. 分別可能かどうか？

将来の再資源化技術の確立を見越して、その時に素材の分別が容易かどうかをチェックします。多く出回っている木綿わたとポリエステル、羊毛とポリエステルなどの混綿は分別が非常に難しくなり、同一素材 100%の方が分別が容易になります。

4. 生分解するかどうか？

破棄する場合でも、天然素材 100%であるなら最終的には土に還ります。

5. 環境に負荷の少ない素材を使っているかどうか？

オーガニックコットン（無農薬有機栽培綿）や、製造過程でゴミを出さないリヨセル、グリーン証書電力を使った工場で製造されたタオル、エコテックス 100 規格に適合した素材などがあります。

良質な天然素材を長く使う

これらのグリーン購入ガイドから、眠りのプロショップ Sawada がおすすめするのは、良質の天然素材を長く使う、ということです。天然素材なら生分解可能ですし、良質の素材は良い環境で生まれたものです。また、快眠の条件である温度 33℃湿度 50%を快適に保つには自然素材が適していますし、良い素材はアレルギーの心配も少ないのです。ポリエステルやアクリルなどの合成繊維は最小限にして、お使いいただくことをおすすめします。



滋賀医科大学睡眠学講座や日本睡眠環境学会と連携をしています

滋賀医科大学睡眠学講座（日本睡眠教育機構）認定の「睡眠健康指導士 上級」1 名、「睡眠健康指導士」3 名や日本睡眠環境学会（日本睡眠環境研究機構）認定の「睡眠環境コーディネーター」1 名「睡眠環境診断士」2 名が睡眠生理や人間工学に基づいた、快眠のための最適な寝具選びのお手伝いをいたします。